

2012年・節電・省エネ・省コストセミナー

節電は、顧客(発注者、テナント)と一体となった活動により相乗効果が得られます。是非皆様でご参加ください。

趣 旨

我が国の社会・経済・産業にとって、エネルギー需給の安定は最重要テーマであるが、3.11 大震災および福島原発問題によって危うい状況が続いている。加えて、円高・産業空洞化・一次エネルギーコストの増加・火力発電比率増加による地球温暖化ガス増加など、複雑多様な懸案・課題が申し掛かってきている。

昨夏は、特に東京電力エリアにおいての計画停電や企業側の輪番休業など、国民総連動的な節電活動が進められ一定以上の成果が達成され、その成果数値や対策項目・手法も多様な組織や企業等からも公表された。

それらは、トップダウン的かつ緊急的な対応で為された面が強いが、照明や空調の面では執務環境を許容以上に低下させての実行も少なからず散見され、今夏においては是正が必要である。

本セミナーでは、そうした状況を網羅的に把握・分析し、より効果の高い節電を省エネ手法や「見える化」、コンプライアンス面(省エネの補正など)対応等を含むトータル的なマネジメント手法の共有を目指している。

開催日 東京ー平成 24 年 4 月 25 日 (水)

大阪ー平成 24 年 4 月 23 日 (月)

福岡ー平成 24 年 4 月 26 日 (木)

時 間 13:30~17:00

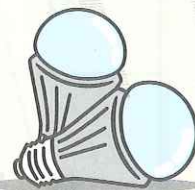
開催地 東京ーオリナスタワー (東京都墨田区)

大阪ー大阪証券取引所ビル (大阪市中央区)

福岡ー福岡朝日ビル (福岡市博多区)

定 員 80 名

受講料 2,000 円 (消費税・テキスト代含む)



主 催 (公社)全国ビルメンテナンス協会、(社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会

内 容 (予定)

※各会場の講演者はホームページでお知らせいたします。<http://www.j-bma.or.jp/seminar>

1. 国のエネルギー政策状況(省エネ法改正、総合エネルギー政策)
2. 昨夏の節電・省エネ状況と今夏の課題
3. 電力会社プレゼン(電力需給状況、料金制度など)
4. 公的支援制度活用による推進
5. 節電・省エネ事例①(ビルオーナー)
6. 節電・省エネ事例②(ビルマネジメント)
7. 節電・省エネ事例③(ビルメンテナンス)
8. 節電・省エネ事例④(テナントユーザー)

申 込

参加費を裏面の申込書に記載された銀行口座へお振込みいただき、申込書に必要事項を記入後、振込金受領書・銀行送金帳など入金を確認できるもののコピーを添えてFAXにてお申し込み下さい。

受付後、参加票をFAXにてお送りします。当日は参加票をご持参下さい。

申込〆切 各会場、開催日の1週間前までにお申し込みください。

後援(予定・順不同)

(公社)東京ビルメンテナンス協会、(一社)大阪ビルメンテナンス協会、(公社)福岡県ビルメンテナンス協会、(株)朝日新聞社、東京建物(株)、平和不動産(株)、日本メックス(株)、『月刊総務』、他依頼中